

紅葉の花貫溪谷



名馬里ヶ淵

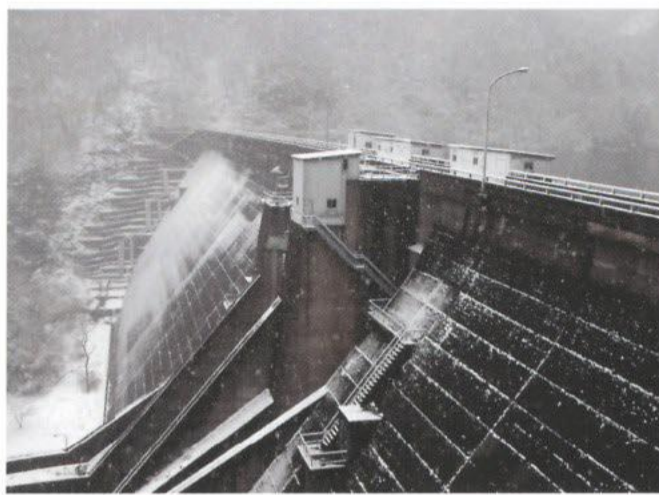


夕見滝

花貫ダムは、産炭地域振興事業の一つとして高萩市の上水道用水、農、工業用水の供給、洪水の調節などを行う目的で建設された多目的ダムで昭和48年に完成しました。付近は市街地に近いところから公園として設備され、ダムの堰堤越しに太平洋が眺望できることから、「海が見えるダム」として親しまれております。

また花貫川は、中流で中戸川、下流で多々良場川を合流し高萩市外の南部で太平洋に注ぐ二級河川です。中・上流には夕見滝、不動滝、名馬里ヶ淵などの名勝をもつ花貫溪谷があり、カエデなどの落葉樹が谷にかぶさるように生い茂り、新緑、紅葉の時期は特に見事です。

この川には、大正時代に第一発電所を含め3つの水力発電所が設けられ、小出力のため一時期廃止の対象とされたが、火力発電、原子力発電が環境汚染などで問題視される中で見直しながされ、現在も稼働中でクリーンな電力を生み出しております。



高萩工事事務所

〒318-0003 茨城県高萩市大字下手綱 1405-2
TEL 0293-22-2175 (代) FAX 0293-23-1241

花貫ダム管理事務所

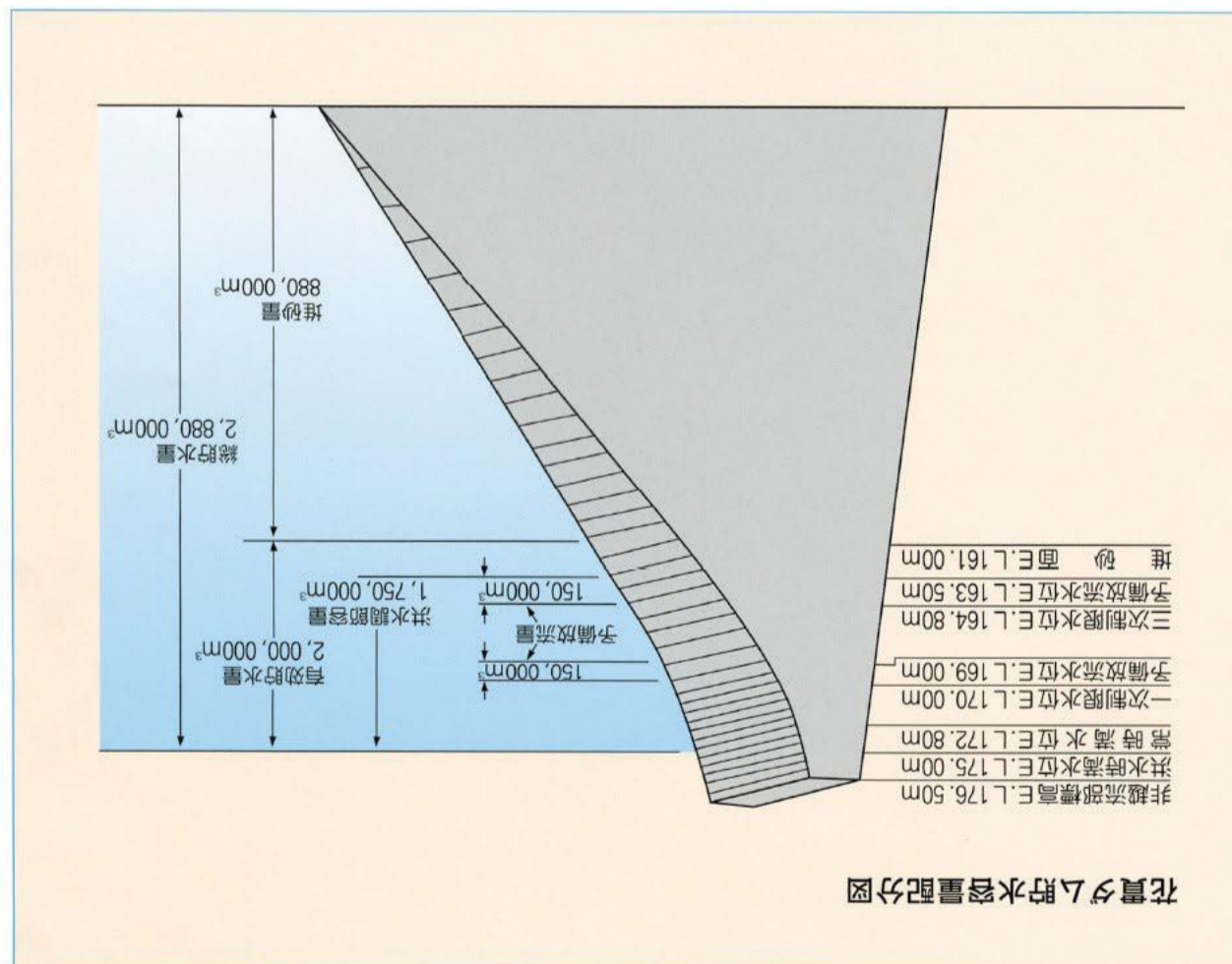
〒318-0024 茨城県高萩市秋山字板木 2989
TEL 0293-22-3524
FAX 0293-23-5081



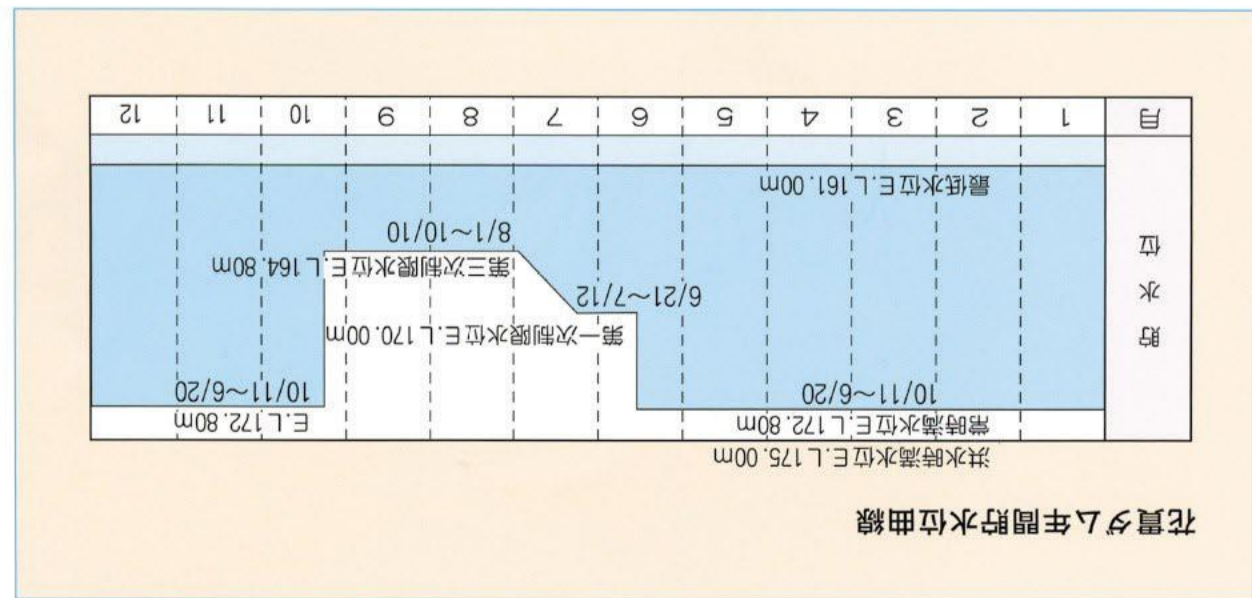
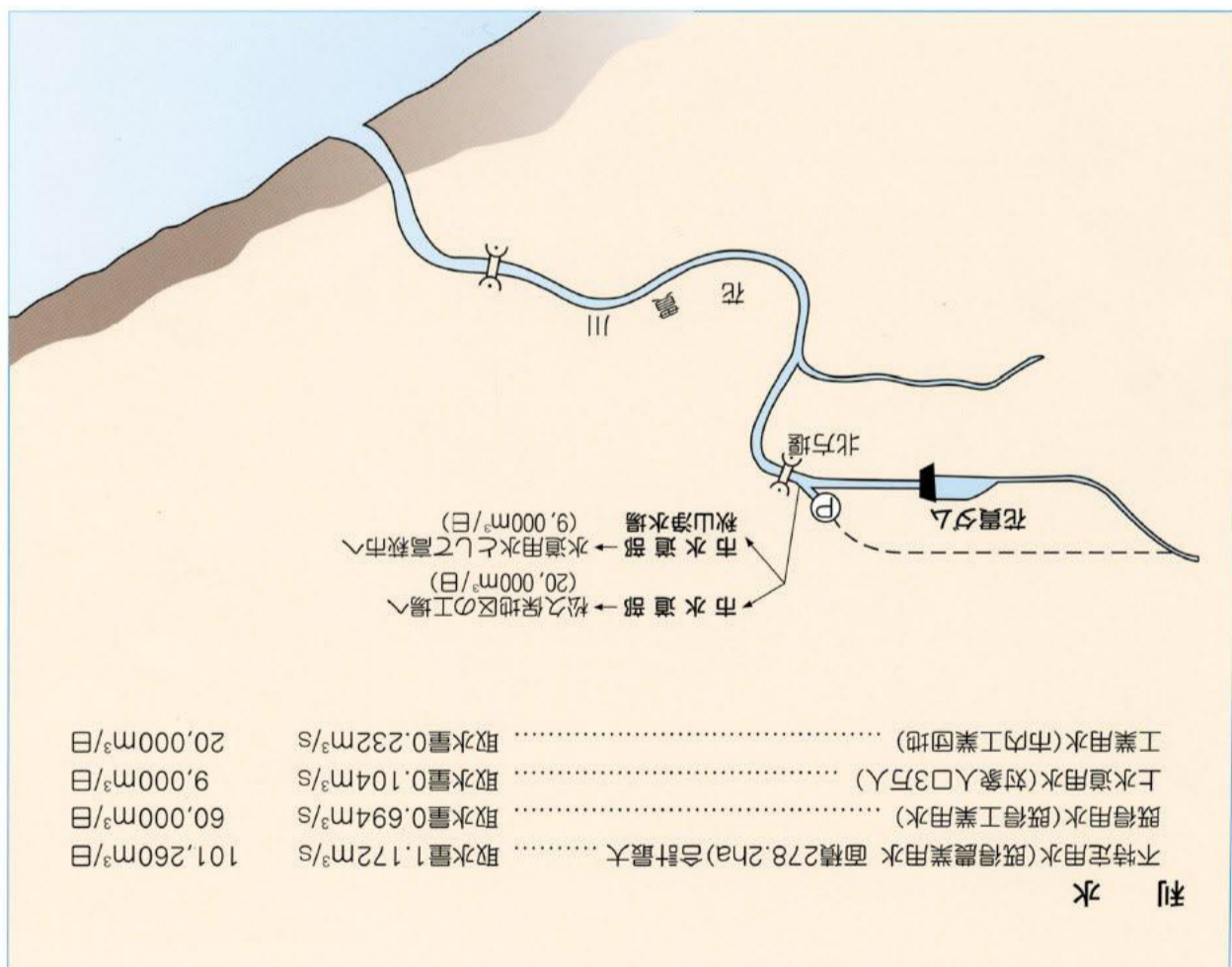
花貫ダム



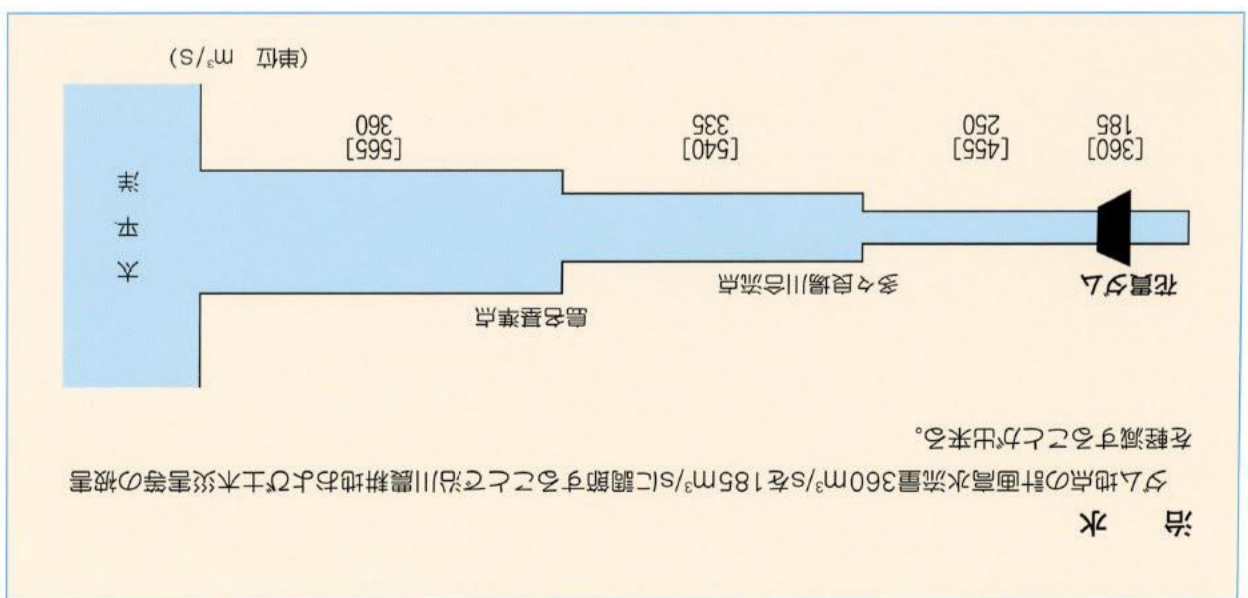
平成28年12月改訂



花貫ダム貯水容量配分図



花貫ダム年間貯水水位曲線



ダム建設による効果

事業費		補償工事		用地補償	
計	2,500,000	100.0	立竹林-1,298a	宅地-3,791a	山林-2,273a
その他	335,000	13.4			
工業用水	140,000	5.6			
上水道	137,500	5.5			
不特定用水	1,887,500	75.5%	県道-延長1.68km	林道-延長0.92km	幅7m
治水	1,887,500	75.5%			
公共費	1,887,500	75.5%			
治水	1,887,500	75.5%			
不特定用水	1,887,500	75.5%			
上水道	140,000	5.6			
工業用水	140,000	5.6			
その他	335,000	13.4			
計	2,500,000	100.0			

事業の経過

昭和35年度～	予備調査
昭和41～42年度	実施調査
昭和43年度～	用地買収及び付替道路工事
昭和45年8月	躯体工事に着手
昭和46年8月	定機式
昭和48年3月	竣工
昭和48年4月	管理開始

この様に治水による水害の低減と相俟って、本県の基礎産業である農業の積極的振興と工業の開発、並びに生活用水の確保等により、沿岸地域の安定した開発、発展を目的として多目的ダムが建設されました。

ダムを作る前の花貫川は殆どが未改修で、従来より洪水時には相当の被害を蒙っており、その一部部分的に復旧工事が行われてきたが、流域の資源増により、その被害額も増加し根本的な治水対策が必要となっていた。さらに農業用水にあっても、年々用水不足きたし旱害を蒙っていた。一方高萩市に於いては産炭地域振興に基づく工業団地造成と、これに関連する産業の急速な発展による工業用水の需要が増大しつづつあった。飲料水は地下水に依存しているが、海岸線に近いため水質が悪く種々の弊害を生じていた。

ダム建設の目的

花貫川は、本県の北部を縦貫する多賀山系の標高688.2mに源を発し、東流して太平洋に注ぐ、流域面積66.9kmの流路延長19.4kmの二級河川です。この流域はほとんどが山地で、地質は中生代の生成であろうとされている花岡岩が大部分です。

流域の状況

花貫ダムの概要

ダム・貯水池などの規模および管理設備



ダム

形式	重力式コンクリートダム
地質	花崗岩
高さ	45.3m
堤頂の長さ	223.6m
体積	173,500m ³
非越流頂標高	EL 176.5m
越流頂標高	EL 165.5m



下大能雨量観測局

貯水池

集水面積	44.0km ²
湛水面積	0.24km ²
洪水時満水位	EL 175.0m
常時満水位	EL 172.8m
第一次制限水位	EL 170.0m
第三次制限水位	EL 164.8m
堆砂面	EL 161.0m
総貯水量	2,880,000m ³
有効貯水量	2,000,000m ³
堆砂量	880,000m ³



花貫ダム管理事務所

管理設備

放流設備

オリフィスゲート	高圧ラジアルゲート2門 高3.2m×幅3.0m
クレストゲート	ラジアルゲート1門 高10.28m×幅9.0m
表面取水ゲート	多段式ローラーゲート1門 高13.7m×幅1.6m
放流管 (φ600mm)	1条
	ハウエルパンガーバルブ1基 (φ400mm)



島名水位観測・警報局

観測警報設備

観測警報設備

雨量観測	テレメータ雨量局1局
水位観測	テレメータ水位局1局
警報	テレメータ警報局7局
水位警報	テレメータ水位警報局2局
監視	雨量、水位、警報監視局1局

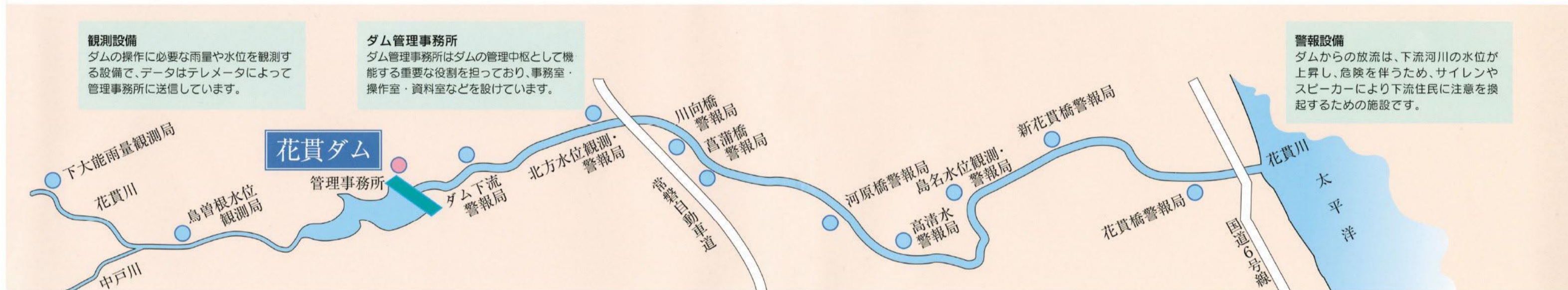


川向橋警報局

観測設備
ダムの操作に必要な雨量や水位を観測する設備で、データはテレメータによって管理事務所に送信しています。

ダム管理事務所
ダム管理事務所はダムの管理中枢として機能する重要な役割を担っており、事務室・操作室・資料室などを設けています。

警報設備
ダムからの放流は、下流河川の水位が上昇し、危険を伴うため、サイレンやスピーカーにより下流住民に注意を喚起するための施設です。



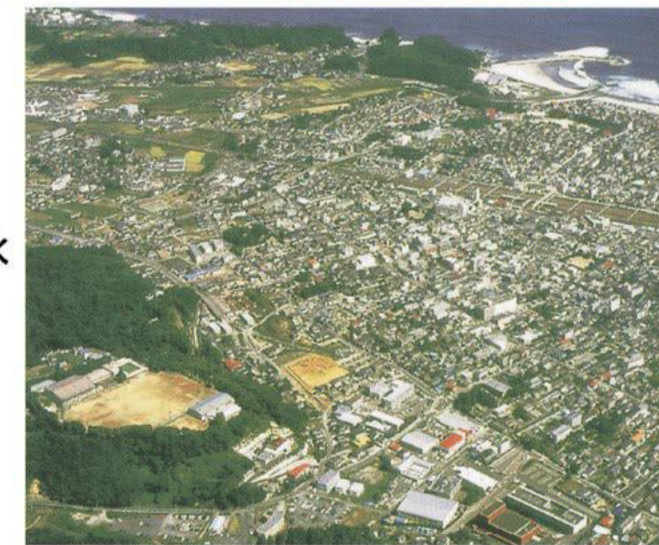
「恵みをもたらす水」

ダムの水はいろいろなところで利用されています。

灌漑(かんがい)用水



水道用水



工業用水

